

# 同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

11  
2017  
NOVEMBER

山形県中小企業家同友会  
月刊 同友  
やまがた



## 新入社員フォローアップ研修

社会人としての半年間を振り返り三年後の目標を設定

## 第45回青年経営者全国交流会 in 茨城

語れ夢！ぶつけよ思い！弘めよ我らの志！  
～挑戦こそが未来を創る～

## 2018共同求人活動

自社と中小企業の魅力を伝え地域に若者を残そう！

地域社会の主役としての  
自覚と誇りを持つとう！  
（経済を牽引するのは私達だ）

# 社会人としての半年間を振り返り三年後の目標を設定

9月25日、社員共育委員会主催「新入社員フォローアップ研修」が山形ビッグウイングに於いて開かれました。今年した入社した45名の新入社員と経営者など、総勢65名が参加しました。

冒頭、阿部和人社員共育委員長が、「4月に入社し緊張感もほぐれてきた頃だと思います。半年間を振り返り上手くいったこと、失敗したことなど、いろいろな経験を踏まえて、どんな社会人になるのかという目標を定めていきましょう」と挨拶を述べ、研修がスタートしました。

体験報告は(有)グッピー園 筒井悠基さん、(株)サニックス 佐藤ありささん、城北電気工事(株) 山口裕和さん、(株)長沢建設 佐藤未沙姫さんが担当。続いて行われたグループ討論では「仕事は楽しいですか？」をテーマに半年間を振り返り、嬉しかったこと、悩んだこと、失敗したことを語り合ってお互いの成長を確認し合いました。

講義では、「社会人としてのこれから。何を目標にしようか？」と題して、(株)大久保硝子店 大久保徳朗専務が、社会人になった頃のエピソードを交えて講義しました。

大学卒業後、メーカーに就職した大久保氏は会社に馴染めず、やらされ感だけの時間が過ぎていく中で「こういう人になりたい」と思う先輩に出会い、「新聞を読む」「名刺交換した人にメールを送る」など、良い習慣を身につけ、目標を持つことができた振り返りました。「この仕事が自分に合っているのか」など、悩む時期でもある参加者に、自らの経験から「どの職業でも5年も経験しなければ一人前にはなれない。ポジティブに考えて、しっかり仕事と向き合う中で、自分のための仕事から、会社のため、地域のためと広がっていく」と語りました。

そして、夢を持つことは大切なことで、夢がなくても1年、3

## 体験報告

### (有)グッピー園 筒井悠基さん

私は小さい頃から動物が好きで動物に携わる仕事がしたいと思っていました。その中で、グッピー園のようなショップでのお客様との接客などが楽しいだろうと思い入社しました。それから半年仕事をしてみて、作業自体は学校でやっていたことが多かったのですが、難しくなかったのですが、数多くある商品を覚えるのがすごく大変で頑張らないといけななと感じました。



失敗したことがいくつかあり、そのうちの一つに水槽をきれいにさせるために水槽の中で使用するガラスを使った商品があるのですが、それを割ってしまったことです。これがものすごくショックで、数日間へこみながら接客をしてしまいました。そのあたりは気持ちの切り替えをしっかりとできるようにならないといけないと思っています。

嬉しかったことは、お客様の質問に対してちゃんと答えられて、お客様が実践して上手くいったと言ってもらえたことです。自分の伝えたことが間違っていなかったと良い経験になり自信にもつながりました。

これからの目標は、爬虫類も魚類も生態の知識などに詳しくないため、その知識を身に付けていきたいと思っています。また、各社のメーカーの製品はとも数があり、使い方・効用などを覚えてお客様にしっかり伝えられるようになります。

### (株)サニックス 佐藤ありささん

入社から半年がたち、この半年を振り返ってみて大切だと思ったこと、感じたことをお話しします。

一つ目は、素直であることです。入社して最初の3カ月は、先輩社員から会社の仕組みやマナー、売上業務などを教えていただきました。しかし、教えていただいたことをその時は理解したつもりでも、次に同じ作業を行う時にあやふやになっていることがあり、結果的に間違え先輩たちに迷惑をかけてしまうことがありました。分からない事は分からないままにせず、素直に何が分からないのかを話し教えていただくことが大切だと思いました。

二つ目は、チャレンジすることです。この半年間チャレンジの多い日々であったと感じます。その中の一つに、活力朝礼コンテストへの参加があります。チーム全員で息を合わせ、自分ひとりで頑張るのではなく、みんなで創り上げる事の難しさを感じました。チャレンジすることは自分の経験となって成長の糧になると思います。何事もまずは挑戦してみることを大切に、自分のスキルとしてどんどん吸収していきたいです。

三つ目は、人に教える事の難しさです。先日山形大学から2名のインターンシップ生が来ました。自分では教えて貰うことばかりだったが、今回は人に教えるという事で、ただ資料を読むのではなく相手が聞きやすいようにはきはきと話すことを意識しました。事前に準備をする中で、言葉遣いやビジネスマナーなど忘れていたことを思い出し、再確認することができました。

私のこれからの目標は、自分の仕事に責任を持ち、より確実なものにしていくことです。この半年間で教えられたことを再度確認し、忙しい時こそ焦らずに仕事と向き合っていきたいです。





年後の目標を持つことで、その先に夢が見出せるとし、自分を磨くための目標を持つことを提起。「人生の主人公は自分であり、今の自分は自らが選択したこと。どういう人生を歩むかを少しずつ考えていくこと。目標は自分を磨くためであり、自分の知っている範囲でしか立てられない。知らないことを知るために多

くの出会いを求め、目標を実行できるように良い習慣を身につける。行動が夢実現の一步となる」と、まとめました。

午後には、お互いの課題や目標を話し合い、「知識要件」「技能要件」「どんな社会人になりたいか」という3年後の目標を設定し、決意表明が行われました。

#### 城北電気工事㈱ 山口裕和さん



私がこの半年間で一番に学んだことはコミュニケーションの大切さです。もちろんほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)も大事ですが、それ以外にも普段の会話も社会人には大切なものだと思います。コミュニケーションというと報

告・連絡・相談というのが一番にくるという固定観念があったのですが、そうではなく普段の会話の中で基礎があっただけで、始めて報告・連絡・相談があるものだと思います。普段会話するという事は、お客様等の仕事に関わる人からの心象としても大きく影響しますし、何気ない会話の中に仕事に関わってくるヒントであったりポイントが見えてくるものだと感じました。実際にピッグという工具があるのですが、使い方が分かりにくく先輩も仕事の時間が足りなくてあまりポイントを教えて貰えないという事があったのですが、休憩時間などに先輩と話していくうちにコツなどを教えてもらえました。

普段の会話が大切だと思う理由が、人と接する際に相手はどのような人で、どのような性格なのだろうといった分析をすることができる。分析によって仕事に関わる人の心象を上げる事にもつながっていくと感じました。コミュニケーションは人生を生きていく上で、生まれてから死ぬまで常にやり続ける行動です。その行動をこれからさらに磨きをかけることが、個人や会社の向上に繋がっていくものだと感じました。これからも仕事をしていく上でさらに普段の会話やほう・れん・そうに磨きをかけていこうと思いました。

#### ㈱長沢建設 佐藤未沙姫さん



半年前、ここでみなさんと目標と決意を固め、新入社員としての一步目を踏み出しました。半年前の私はとても不安で一杯でした。毎日のように通っていた学校、見慣れた教室には当たり前のように友達や先生がいました。そんな生活から一変し新しい輪に一人で入ることはとても勇気がいる事でした。そんな中、合同入社式があり新入社員が集まる機会を設けてもらいました。先輩方のメッセージはとても参考になり、まねしたいところがたくさんありましたが、今の私はほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)、この合言葉を大切にしないとイケないと思いました。

しかし、いざ会社に持ち帰りやるぞ、と思っても簡単に出来る事ではありませんでした。頭の中では作業の順番やはじめはどうするのかを考えているはずなのに、行動に移すことができませんでした。想像していたことと違う結果になったこともあります。なぜ出来ないのか、とても悔しい思いでした。そんな時に先輩方の励ましや現場の方、お客様等の「頑張ってるな」の一言がとても嬉しく、頑張ろうというきっかけになり、仕事の大変さ楽しさを感じられました。仕事に慣れ始め、ほう・れん・そうがおろそかになり失敗してしまったりあります。自分だけの責任ではなく、会社全体の責任になってしまう場合があり、改めてほう・れん・そうの大切さを知りました。社会人としての責任は重く大変なことだと思いますが、その分達成した時の喜びや感動そういったことが仕事の魅力であり、やりがいと私は思います。

## 第45回青年経営者全国交流会 in 茨城

# 語れ夢！ぶつけよ思い！弘めよ我らの志！ ～挑戦こそが未来を創る～

9月14日から15日にかけて第45回青年経営者全国交流会が水戸市で開かれました。スローガン「語れ夢！ぶつけよ思い！弘めよ我らの志！～挑戦こそが未来を創る～」のもと、全国から1200名が集い、山形からは4名が参加しました。「企業づくりと青年部活動」「時代のリーダーへの期待」「事業承継」「変革と挑戦」などのカテゴリで16の分科会と記念講演が行われました。

参加者より報告が届きましたので紹介いたします。



## 第45回青年経営者全国交流会報告

(株)アルファ・コム 代表取締役 佐藤 淳



私にとって、初めての青年経営者全国交流会でしたが、本当に参加して良かったと思える2日間でした。

初日の分科会では、第15分科会に参加させて頂きました。15分科会は「承継」をテーマとした内容でした。何のために承継するのか？何を承継するのか？本当の意味での承継とは何か？

『承継と思い描く未来への挑戦～父とのビジョンの違いから始まった企業づくり～』と題して、広島同友会の株式会社モンテドール、代表取締役杉田雅之様の報告でした。

杉田氏は祖父が創業した洋菓子店の3代目。4年間の修行を経て、父のお店に入ります。しかし個人商店の父と意見が合わず、只々父の店との連続性を絶ちたいと考え、名前も看板も全て替える事に。様々な取り組みを行い、年商300万円の個人商店を企業化し、今では年商1億7,000万円までにします。自分の力で会社を成長させたつもりでしたが、しかしその傍らには父親の支えがあった事に気づきます。承継とは目的ではなく手段。会社を批判したり、「ああしたい、こうしたい」だけではダメで、先代の想いを受け止めて、自

分がどうしたいのかを決め、想いの旗(=使命)を掲げることの重要性を報告して頂きました。私たちのグループは、承継した人、承継する人…同族、他人…創業の人、2代目以降の人…が一緒に、グループ討論では、様々な角度からの「承継とは？」を掘り下げる事が出来ました。やはり、様々な想いをしっかり受け止め、「守るモノ」「変えるモノ」を見極めていくこと、そしてそこに対する覚悟が大切だと学ばせて頂きました。

また、懇親会では様々な地域の経営者とお話する機会を頂き、刺激をたくさん感じることで、熱く燃え上がる想いの糧となりました。

2日目の特別講演、基調講演では、吉田松陰の言葉が響きました。経営者としても、1人の人間としても、夢を持ち、夢の実現に向けて力強く進む事の大切さを学ばせて頂きました。

また、会社の見える化の大切さを学びました。その積み重ねが、企業として、人としての真の価値になるのだと改めて感じる事ができました。きっと、そこを怠ると積み重ねが、いつか大きなツケを払う事になるのだろうと……。

「見えないところだから良いだろう」思い当たるところが多々あります。そう考えると、着々とツケを貯めているんだなと危機意識が高まってきます。

「見えないところをちゃんとする」様々な部分をクリアにしていく事が会社自体の自信、そして信用に繋がって行くのだと言う事を学ばせて頂きました。

本当に刺激があり、多くの事を学ぶ素晴らしい機会でした。参加させて頂き、誠にありがとうございました！



去年大阪で開かれた中同協全国大会がとても充実していたため、今年も何とか全国行事に出たい！と企んでいました。今年は、青全交が水戸で開催されるとのことで、参加させていただきました。今大会には1,200名の同友会会員が集まり、熱気の中で二日間の日程を終えました。

一日目の分科会では、第11分科会に参加し大阪同友会の株式会社ユニオン環境の辻野さんの報告から学びました。辻野さんは、お父さんが経営する会社に後継者として入社しながら、独立して会社を立ち上げて7年という異色の

経営者です。次々と立ち足はだかる困難や葛藤に対して、自分からアクションを起こしてきたことがわかり、大変刺激になりました。その後の懇親会では、東北ブロックの青年交流活動を進めている方達からお声かけをいただき、現在の取組をお聞きすることができました。二次会も東北ブロックの集まりに参加させていただき、大変盛り上がりました。内容につきましては今後の例会等の活動の中でお伝えしていきたいと思います。

二日目の記念講演は、金砂郷食品株式会社の永田社長のお話しでした。納豆という地場産業を守りながら、海外向けの商品を開発して海外進出に挑戦するなど、具体的な取組みについてお話を聞くことができました。

以上、私のつたない文章では伝わらないかと思いますが、全国の同友会の仲間から元気とパワーをもらい、大変勉強になった二日間でした。ご一緒いただいた中村屋の志田社長、アルファコム佐藤社長、事務局の芳賀さん、いろいろとありがとうございました。また、全国行事に参加したいと思います。

## 第7分科会に参加して

(株)ベーカリー中村屋 代表取締役 志田 清志

9月14、15日の2日間水戸市で行われた第45回青全交に参加してきました

第7分科会の「選ばれ、働きたい企業になるために」の九州永田、坂部社長のお話を聞いて、人を辞めさせない経営の実践をされていて、もし本人が営業が合わなくて辞めたくても本人の性格に合う業務は何か？をとことん本人と1対1で面談し続け話し合い自社の社員としてどうしたら仕事を続けられるか、その人を活かせる業務を作っていくことに驚きと感銘を覚えました。(人を活かす経営)

最初に経営計画書に書いた事は『会社側からの売上げと利益計画』しかなかったこと、社員の未来に気を配らなかったことを知り、再度作り直し、社員の夢ややりたい事が自社の未来に繋げていけるかを考え尽くしたそうです。(人を活かす経営)

以前、赤石氏(故人)から聞いたという『社員が会社を辞めていく時に満足していなければ殺人と同じだ』という言葉はすごく重いものでした。

この会社では「インターン」を積極的に迎え入れて、社員に『作業から仕事になる瞬間』を経験してもらっているとのことでした。例)ホースを切っているではなく→このくらいの長さでないと使用するお客さまが邪魔になるからこの長

さで切っている。というように「なぜ」を社員が説明できて初めて仕事といえることを社員に説明している。

また採用時にもすべての社員から、判断を仰ぎ1名でも「不」を出すと採用されず、社長が本人に郵送ではなく直接手渡してなぜ「不合格」なのかを理由を言うそうです。これもその人の未来を考えて「こうしたらもっと良くなる」という次回の他企業面接試験の際のアドバイスをしているとのことでした。

求人がいかに大事か、入ってくる人を活かしてその人の未来を、そして会社の未来を一緒に創っていくこととする。坂部社長の報告に感心するとともに自社も近づけるように日々努力しなければならないと痛感いたしました。



## 2018共同求人活動

# 自社と中小企業の魅力を伝え地域に若者を残そう！



2018年3月卒業予定の学生を対象とした共同求人活動が、先日開催された秋の合同企業説明会で今年度の活動が終了しました。今年度は27社(内スポット参加3社)の企業が参加しました。主な活動内容としては春と秋の合同企業説明会、山形大学での学内合同企業説明会、県内外の大学・短大・専門学校への学校訪問を行いました。

### 春と秋の合同企業説明会

企業側の人手不足による学生優位の売り手市場の中、3月23日と10月24日に開催された合同企業説明会では、二回合わせて学生の参加者が36名と昨年度に比べ微増の結果でした。学生と経営者・採用担当者がじっくり語り合い自社と中小企業の魅力を伝えました。

時には、ブースに来た学生が自社より他社に向いていると思い、他社のブースに行くよう勧める場面もありました。これはお互いの会社をよく知っている同友会の会員企業が集まったからこそで、他の合同企業説明会にはない就活生の立場に立った合同企業説明会が開催できました。

参加学生からも「企業の方と近い距離でお話することができてよかった」「東京の企業ばかり見てきたが、山形県に1ターンすることも考えるきっかけになった」「中小企業のイメージが変わりました」という声が寄せられました。

### 初めての学内合説

今年度初めて開かれた9月20日の山形大学学内合同企業説明会では、2018共同求人活動参加企業の中から



11社参加し、学生23名が参加しました。終始笑顔で話をする学生の姿が見られ、大学の就職課の方々からは「企業説明会であんなにいきいきとした表情の学生は見たことがない」と、好印象を持っていただきました。また、参加企業からも「問い合わせの電話が来た」「会社訪問の申込が来た」と報告があり次のステップへも繋がりました。来年度以降も定期開催されるよう大学側と信頼関係の構築に取り組んでいきます。

### 学校訪問

今年度は学校訪問も積極的に行いました。県内の大学・短大・専門学校だけではなく、宮城県の学校も訪問しました。秋の合同企業説明会には東北学院大学・東北工業大学の学生も参加し、学校訪問の成果が見られました。来年度以降も、県内のみならず県外の学校との関係づくりを強化し、合同企業説明会への動員や学内合説開催へと繋がっていきます。

今年度で本格的に活動して3年目となる共同求人委員会。依然として合同企業説明会への参加学生数の増加が課題ではあるものの、委員会では中期的な計画を立て、ひとつひとつ実績を積み重ねてきています。来年度も学校、行政、他団体、他県同友会との連携を図り取り組んでいきます。ぜひ皆様も共同求人活動に参加して一緒に地域に若者を残しましょう。

# 第14回経営研究集会のお知らせ

## きらり☆ひとが輝く企業づくりで元気な地域をつくろう!

日時 2017年 **11月16日**(木) 受付 13:00~  
13:30~20:45

会場 **山形国際ホテル** 山形市香澄町3丁目4-5

参加費 第1部~第2部:2,000円 第3部(懇親会):6,000円

**第1部** 開会行事 13:30~13:45

基調講演 13:45~15:25

**第2部** 分科会 15:35~19:00

**第3部** 懇親会 19:10~20:45

### 実行委員長挨拶

このたび「きらり☆ひとが輝く企業づくりで元気な地域をつくろう!」をスローガンに第14回経営研究集会が開催されます。

昨今、我々を取り巻く経営環境は過去に経験したことのないスピードで変化しています。

少子高齢化対策や技術革新、働き方改革など政府が進める重点課題への対応を迫られています。また山形県においても人口減少は全国4番目の減少率と発表され、マーケットの縮小や労働力不足による厳しい経営を実感されている方も多いのではないのでしょうか。

その様な中で、このたびの経営研究集会では以下の3つの開催目的を持って学び合います。

一つ目は、労働力を確保するために、障がい者・就労困難者・女性の力を活用した多様な働き方を実践する事例に学び、誰もが生き生きと働くことが出来るダイバーシティ企業をめざします。

二つ目は、将来にわたり安心して暮らすことができる社会の実現に向けて「働き方改革」を考え、社員が自主性や創造力を発揮できる為の採用と教育、そして労働環境整備に取り組む機会とします。

三つ目は、IoT、AIなどの技術革新の活用や、様々な分野での連携で社会的課題を解決する新たな仕事づくりや産業の創造による地域づくりを考え合います。

基調講演では、アイエスエフネットグループ代表の渡邊幸義氏より雇用創造革命のテーマで誰もが働けることが社会にとっても企業にとっても重要であり、個人々が強みを発揮できる為の人づくり、組織づくりについて学びます。

第1分科会では、(株)吉村の橋本社長より「『ひらがな経営』で社員がキラリ」というテーマで社員全員が考え、行動できる会社になる為の仕組みづくりを学びます。第2分科会では、(有)シモタニの竹平社長より業界づくりと地域づくりによって磨かれる自社の奮闘について報告していただきます。第3分科会では、(株)東京IT経営センターの田中社長より「働き方改革」を支援する「IT活用」というテーマで社員が自主性や創造力を発揮し誰もが生き生きと働く環境づくりについて学びます。

人が集まる元気な地域をつくるには、魅力的な企業が必要です。魅力的な企業には生き生きと輝く人が必要です。今回の研究集会で、ひとづくり、組織づくり、地域づくりについて学び合い、同友会活動を通じて魅力ある企業をつくり、地域の大きな問題を解決する流れを起こしましょう。



第14回経営研究集会  
実行委員長  
佐藤 啓

## 11月・12月例会のご案内 ・どの支部の例会にも参加できます。 ・月に一度は参加しましょう。

### さくらんぼ支部

#### 同友会を知る例会

~同友会を経営に活かすためには~

2017.11.28(火)18:30~20:30

場所:まなびあテラス 講座室

東根市中央南一丁目7-3 ☎0237-53-0223

報告者:(株)ライフケアサポート

代表取締役 青山共美氏

今回の例会は「同友会を知る例会」と題して、同友会の活用方法を学び合います。新会員の方や、新会員オリエンテーションに参加したことのない皆様は、同友会をどのように活用していくかを知るチャンスです!

体験報告では、(株)ライフケアサポート 代表取締役 青山共美氏(さくらんぼ支部)に、「同友会」を自社にどう活用してきたか、どんな成果がでてきているのかをお話していただきます。

新会員の方は同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深めるきっかけになればと思います。また、「同友会ってどうゆう会?」とお思いのゲストの方も大歓迎!お知り合いの経営者をお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

### 新庄最上支部

#### 忘年会

2017.12.5(火)  
18:30~20:30

場所:厨ダイニング

新庄市若葉町7-6

☎0233-23-7417

※会費など詳細は追って  
お知らせいたします。

望年会 2017.12.1(金)18:30~21:00

場所:ペコリーノ スペリオール

東根市さくらんぼ駅前二丁目7-19  
☎0237-42-1588

会費:4,500円

※詳細は追ってお知らせいたします。

# 第6回理事会報告

◆日時:2017年10月11日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:越前屋副代表理事  
◆出席者:(敬称略)西塔、菅原、後藤、越前屋、阿部(和)、赤塚、阿部(秀)、阿部(敦)、武内、八代、田中、佐藤(淳)、事務局 矢作、後藤、芳賀

## ■開会挨拶

西塔代表理事が「期も後半に入り、年度初めに決めたことを達成するために力を入れなければいけない。選挙が始まったが、同友会としては各党と全くの等距離。『よい経営環境をつくる』において、この選挙は重要で、自分にとって、同友会にとって良いと思う所に投票して欲しい」と述べました。

## ■学習会

### ●報告者:阿部和人氏

阿部理事が印刷業界の現状や動向、またそれに対する自社の戦略について報告しました。

次回報告者:板垣一紀氏

## ■報告事項

1)北海道・東北ブロック支部長・地区長交流会(文書報告)

2)中同協共同求人・社員教育合同委員会(文書報告)

9/7~8 函館 6名参加

3)第45回青年経営者全国交流会 in 茨城

9/14~15 茨城 4名参加

「『事業承継』をテーマとした15分科会に出席し、3代目の杉田氏が父の洋菓子店に入社し急成長させた報告とグループ討論から承継は株などの移行だけでなく守るもの、変えるもの、使命について様々な角度から学べて新たな気づきを得た。初の全国行事で貴重な時間を過ごした。山形の参加者を増やし、熱さと想いを全国の方々と交流し伝えていくことで輪が広がるのではないかと報告しました。(佐藤淳理事)

4)「秋田男女共生部会主催経営研究フォーラム」9/20 秋田

「秋田男女共生部会部会長からの依頼があり、山形同友会女性部との交流も深めたいとのことで参加。女全交で、東北メンバーが交流を深めてから5年ほどが経過。同友会の女性部として、何を学び、何を発信し、各県での存在意義を深めようとの流れになっている」と報告しました。

「中同協女性部連絡会議」9/21~22 東京

「中同協総会議案、各県の女性部の活動方針を確認、女全交報告、各県の取り組みを発表。中でも来年女全交開催地の埼玉の取り組みが素晴らしく、会員同士の連携や行政への発言権、行政から頼られる女性部になっている事例報告があった。女性部のあるべき姿を、しっかりと各県で確立し、運営するのを感じた」と報告しました。(赤塚理事)

5)中同協第2回幹事会

10/5 東京 3名参加

今後の行事として2月に兵庫で全研、12月に共同求人・社員共育活動全国交流会が島根で開催されることを確認。e.doyu全国掲示板が利用開始となり、全国でコミュニケーションができるようになることを報告。(西塔代表理事)

県として利用するかどうかについては原則利用することを前提として、試験運用版を確認した上で決めることになりました。

6)2017組織強化・会員増強全国交流会

10/5~6 東京 3名参加

加藤副会長と中山幹事長のまとめについて紹介し、「青年部の組織化で若い力が集うことは企業における新卒採用のようなも

ので活性化につながる。我々が取り組むべき組織課題と感じた」と報告しました。(菅原代表理事)

7)各委員会・部会よりの報告(文書報告)

8)各支部よりの報告(文書報告)

9)2017年度9月月次決算報告

■承認事項(入・退会承認) 1名入会 5名退会 10/11現在405名

## ■討議事項

### 議題1:2017年度活動の進捗状況について

西塔代表理事が2017年度活動方針の進捗が進んでない項目を確認し、方針作成段階からの担当を確認することも含め、常任理事会で検討していくことになりました。

### 議題2:組織目標達成のための取り組みについて

菅原代表理事が、会員数の現状と各支部の取り組みについて説明した上で、11月の食農部会学習会と経営研究集會を増強活動の重要行事と位置付け、経営研究集會には理事一人につき1名のゲスト参加のお誘いと、ゲスト参加者のフォローに協力すること、食・農部会学習会の支援を提案し、承認されました。

### 議題3:第14回経営研究集會について

矢作事務局長から参加状況と10月16日の「グループ長研修」について報告があり、タイムスケジュールと役割分担について確認が行われました。

## ■その他

1)宮城同友会「第1回県北ブロック合同例会」について

2)今後の予定

*幹部社員研修 第2講	10月12日(木)18:00	山形ビッグウイング
*グループ長研修	10月16日(月)18:00	山形ビッグウイング
*秋の合同企業説明会	10月24日(火)13:00	山形テルサ
中同協・役員研修会	10月26日(木)~27日(金)	福島
*若手農業者との合同学習会	11月 6日(月)17:30	山形テルサ
*第14回経営研究集會	11月16日(木)13:30開会	山形国際ホテル
北海道・東北ブロック事務局長会議	11月24日(金)~25日(土)	天童ホテル
共同求人・社員共育活動全国交流会	12月 7日(木)~ 8日(金)	島根

3)第7回理事会日程

●日時:11月8日(水)午後3時~午後5時

●会場:山形ビッグウイング

## ■閉会挨拶(後藤副代表理事)

◎森 浩一氏  
株式会社Human Support 代表取締役  
保険代理業  
新庄最上支部

## 新会員紹介

### 会社名変更

●株式会社ドウェーブソリューションズ 顧問  
⇒株式会社it's 代表取締役 今泉 孝氏(置賜支部)

### 会員名変更

●株式会社セロン東北 村山営業所  
所長 難波 和明氏(さくらんぼ支部)  
→樋渡 守氏(さくらんぼ支部)  
●株式会社セロン東北 新庄営業所  
所長 樋渡 守氏(新庄最上支部)  
→三原 辰博氏(新庄最上支部)

同友やまがた11月号(2017年11月1日発行/通巻296号)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号  
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583  
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp



山形県中小企業家同友会

# 委員会だより

2017年度第5号 2017.11.1発行  
山形県中小企業家同友会  
山形市南館3-26-26スタジオ・アヴァン102号  
TEL : 023-645-5500  
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

## 【社員共育委員会】

### 「社員の教養について考える」

社員共育委員会では毎月第3水曜日に委員会を事務局にて開催しています。

その中で「学習会」という時間をとり、決められた報告者が問題提起をし、討論しています。

先月はK常務から、「社員の教養」について問題提起をして頂きました。

.....

企業における個人の能力向上（知識・技術・態度）についてはある程度の仕組みを運用し、個人又は組織の成長を図ってきたがめまぐるしく変貌していく時代の中、社員は自らを守り、家族を守り意図した人生を送る事が出来るのだろうか？と疑問に思っている。

- 少子高齢化の中でどう生きていくのか？
- 人口減少、過疎地域でどう生きていくのか？
- 定年後はどう生きていくのか？
- 年金問題をどう認識しているのか？
- 生活の安定と向上をどう図るのか？
- 心穏やかに生活する為にはどうすればいいのか？
- 幸せとは何か・どうやって手に入れるのか？



最近では北朝鮮問題、選挙、デフレなどが話題だが、話題のニュースについてどれだけ関心があり、認識して自分の生活・人生に反映しているのだろうか。

「人を生かす経営」に取り組むなかで社員は（自分も含めてだが）「生きる術」を持っているのだろうか。たくましく生きていく力が備わっているのだろうか。

企業でどこまで教える事が出来るのだろうか？

そもそも企業で教える事はできるのだろうか？

自分の人生を自分らしく生きていく為にも「教養」が必要ではないかを感じる。

という問題提起がなされました。

討論では「実際、夢も無く自分の人生にさえ無関心な社員もいる」「欲が無く目標も立てられない為に行動に移せない」「普段、新聞も読まない・・・」などの現状が出され、「社員への危機感（危機的な情報の提供）が有る程度必要ではないか」「政治や情勢の話を経営側から話しかける必要があるのではないか」

「お昼休みの会話で意識して社会情勢の話をする必要があるのではないか」など討論になりました。

中には「積み立てし、旅行に行き芸術や文化に触れさせている」という企業も有り、意識して社員の教養を上げる取組みに興味深く聞き入りました。

.....

こんな学習会をしています。自社の経営課題をお持ちになってゲスト参加してみませんか？

#### 【次回社員共育委員会】

■日時：11月15日（水）17：30～20：00

■会場：山形同友会事務局（山形市南館3-26-26スタジオ・アヴァン102 電話023-645-5500）

※同友会事務局に電話1本でOK！ゲスト参加お待ちしております。